

平成31年度 学校自己評価表（計画）

学校運営計画							
学校運営方針		生徒、保護者及び地域住民の期待と信頼に応え、生徒の夢と希望を実現するために、親身な指導を行い、世界に通じる骨太の人間を育成する。					
昨年度の成果と課題		年度の重点目標		具体的目標			
<p>生き生きと学校生活を送っている生徒が多く、学習態度や生活態度もしっかりしている。6年間を通し、地域学習を軸とした総合学習を充実させている。</p> <p>昨年度の学校評価で、家庭学習時間の確保と検定合格者数の増加が課題であることが明らかになった。課題の内容や取り組み方の指導を改善し、主体的で充実した家庭学習習慣を確立させる必要がある。検定については、大学受験に必要となる英語検定を中心に受験を促す。</p> <p>新学習指導要領や大学入試制度の改革に合わせ、生徒の実態やニーズに応じ、模試の事前・事後指導を充実するなど、よりきめ細かな学習指導、進路指導を実施する。</p>		<p>確かな学力を育成する。</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1 個に応じた指導を一層充実し、進路実現を図る。 2 基礎的内容の確実な定着を図り、生徒が生き生きと活動する魅力ある授業づくりに努める。 3 質・量ともに充実した家庭学習習慣の形成を支援する。 			
		<p>豊かな人間性を育成する。</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1 自己の精神的・肉体的限界に果敢に挑戦するたくましい態度を育てる。 2 思いやりの心と社会性を培うとともに良好な人間関係を築こうとする態度を育てる。 3 創意を生かした自主的・積極的な活動ができるようにする。 4 服装を整え、礼儀等を身に付け、場に応じた品位ある自律的な行動がとれるようにする。 			
重点目標	具体的目標				具体的方策		評価
確かな学力を育成する	進路に対する意識が高まった生徒80%以上				「総合的な学習の時間」において進路研究を充実させる。		
	朝テストや小テスト、補習により、学習内容を理解したと実感した生徒80%以上				各学年の発達課題を明確にし、学年に応じた進路に対する手立てを講じる。		
	英検、数検、漢検において、各学年の目標級への合格を目指す。				定期考査基準点に達しない生徒への指導を確実に行う。		
					内容や方法などを工夫し、朝テストに取り組ませる。		
					定期的な小テストを実施し、定着の状況をきめ細かく確認する。		
	1年	2年	3年	4年	5、6年	各検定とも1年に1回は受検するよう働きかける。	検定対策講座を実施するなど、各教科で合格に向けた支援を行う。
英検	5級	4級	3級	準2級	2級以上		
数検	3年生までに3級		準2級	準2級以上			
漢検	4級	3級	準2級	2級	2級以上		
前期課程	NRTで偏差値60以上				模試に向けての指導を充実させる。		
後期課程	進研模試で偏差値60以上				結果を的確に分析、評価し、改善点を明らかにして対策を講ずる。		
卒業時	国公立大学合格者60%以上 難関国立大学合格者10人以上				結果を踏まえた面談を実施し、個々の課題や成果を明らかにする。		

	授業内容の理解度に満足している生徒の割合80%以上	授業評価アンケートの結果や生徒個々の特性を踏まえた丁寧な指導・支援を行う。		
		指導力の向上を目指し、主体的で対話的な視点を取り入れた授業研究を全員が実施する。		
		授業態度の振り返りを定期的に行い、意欲的に授業に参加する態度を養う。		
	1、2年生は2時間以上、3、4年生は3時間以上、5、6年生は4時間以上をめぐり、自分で計画を立て、その計画を基に家庭学習を進められた生徒が80%以上	家庭学習記録による学習時間調査を行い、不足している生徒に対する個別指導を実施する。		
		学年だよりを毎月1回以上発行し、学校生活、家庭学習等について保護者の理解を深める。		
	前期課程での課題提出率80%以上	各教科とも、質、量についての十分な検討の上、家庭学習課題を課すようにする。		
		各教科とも、課題の提出に向けた働きかけを確実に実施する。		
豊かな人間性を育成する	目的の明確な体験活動やボランティア活動を実施し、自らの成長を実感できた生徒80%以上	地域や保護者との連携を図り、活動を充実させる。		
		事前・事後の指導を充実させ、活動の意義や価値を十分に生徒に指導する。		
	健康や安全に留意して生活できた生徒90%以上	時期に応じた適切な健康管理指導を行う。また、交通指導を徹底する。		
	心身ともに安心して学校生活を送れた生徒80%以上	定期的な生活実態調査や教育相談及びスクールカウンセラーとの連携等を進め、生徒の心の安定を図る。		
		マイノートや家庭学習記録を活用して生徒理解に努める。		
	人権教育、同和教育及び道徳教育の充実を図る。 ・人権・同和教育の意識が高まった生徒の割合80%以上	生徒対象の講演会や人権教育強調週間での学習を計画的に実施する。		
		職員研修会を年2回実施し、外部指導者の招聘など、研修内容の充実を図る。		
学校生活上の課題を明確にし、その解決を図るため、生徒会活動や学級活動に主体的に参加した生徒80%以上	専門委員会、学年委員会、執行部等で学校生活向上のための取組を企画し、各分掌で調整の上、計画的に実践する。			
服装、登下校時間の厳守、主体的に挨拶を行った生徒80%以上	職員の共通理解に基づく評価を継続的に行うとともに、強化期間を設けて指導の徹底を図る。			
成果	総合評価			